

平成25年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕（連結）



平成24年11月9日

上場会社名 高松機械工業株式会社 上場取引所 東
 コード番号 6155 URL <http://www.takamaz.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 高松 喜与志
 問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役 (氏名) 溝口 清 (TEL) 076-274-0123(代表)
 四半期報告書提出予定日 平成24年11月13日
 配当支払開始予定日 平成24年12月7日
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 有(アナリスト・機関投資家向け)

(百万円未満切捨て)

1. 平成25年3月期第2四半期の連結業績(平成24年4月1日～平成24年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年3月期第2四半期	7,410	17.2	651	365.1	711	315.8	516	408.8
24年3月期第2四半期	6,321	32.9	140	—	171	—	101	406.8

(注) 包括利益 25年3月期第2四半期 506百万円(433.6%) 24年3月期第2四半期 95百万円(—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
25年3月期第2四半期	47.46	47.17
24年3月期第2四半期	9.47	9.41

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
25年3月期第2四半期	16,190	9,163	56.5
24年3月期	15,791	8,739	55.0

(参考) 自己資本 25年3月期第2四半期 9,154百万円 24年3月期 8,680百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
24年3月期	—	3.00	—	5.00	8.00
25年3月期	—	5.00	—	—	—
25年3月期(予想)	—	—	—	7.00	12.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成25年3月期の連結業績予想(平成24年4月1日～平成25年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通 期	16,782	16.4	1,304	31.9	1,427	31.4	952	49.8	87.67

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 (連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 有

④ 修正再表示 : 無

(注) 詳細は、添付資料4ページ「2. サマリー情報(注記事項)に関する事項(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	25年3月期2Q	11,020,000株	24年3月期	11,020,000株
② 期末自己株式数	25年3月期2Q	100,629株	24年3月期	159,629株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	25年3月期2Q	10,888,037株	24年3月期2Q	10,725,605株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、四半期連結財務諸表に対する四半期レビュー手続が実施中です。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	3
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	3
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	4
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	4
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	4
3. 四半期連結財務諸表	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	8
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	9
(4) 継続企業の前提に関する注記	10
(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、円高、欧州債務問題などの景気下振れリスクが存在する中で、復興需要や個人消費の増加によって内需が底堅く推移し、厳しい状況の中でも緩やかに回復を続けてきましたが、世界景気の減速から輸出が低迷するなど、回復の動きに足踏みが見られるようになってきました。

工作機械業界におきましては、円高や欧州経済の不安が続く中、中国で反日デモが発生するなど先行きの不透明感が高まっていますが、工作機械需要は堅調さを維持してきました。

このような状況の中で、当社グループの当第2四半期連結累計期間の連結売上高は74億10百万円と、前年同期に比べ10億88百万円(17.2%増)の増収となり、営業利益は6億51百万円(前年同期比365.1%増)、経常利益は7億11百万円(同315.8%増)、四半期純利益は5億16百万円(同408.8%増)となりました。

セグメントの業績を示すと、次のとおりであります。

工作機械事業

工作機械事業におきましては、工作機械業界で需要をけん引している海外市場への対応強化をはかってきました。

タイ市場におきましては、TAKAMATSU MACHINERY (THAILAND) CO., LTD.にてプライベート・ショーを開催しました。非常に盛況で、多くの引合をいただきました。また、中国市場におきましては、シェア拡大をはかるために日系自動車関連企業が多い広州に喜志高松貿易(杭州)有限公司広州分公司を設立し、平成24年9月より本格稼働しております。

アメリカ市場におきましては、平成24年9月にシカゴで行われたIMTS2012に新製品「XL-150」「XY-120 PLUS」など全9機種を出品し、景気回復基調に伴って拡大傾向にある需要の取り込みをはかって積極的な営業活動を行ってきました。

国内市場におきましては、自動車業界からの需要が回復してきていることから、省エネ・省スペース製品を提供してきたほか、これまでのノウハウと自動化技術をもって、ユーザが国内に設備投資する場合だけでなく、海外に設備投資する場合にも最適な提案を行うことで、特に海外進出の積極化をはかっている大手ユーザからの受注獲得に努めてきました。

生産におきましては、より多くの製品を提供していくために、設計や組立などで外注を効果的に活用しておりますが、更に生産能力拡大をはかるために本社工場の増築に取り掛かっており、今年度中の完成予定であります。

この結果、当第2四半期連結累計期間における工作機械受注高は60億96百万円(前年同期比4.8%増)となり、工作機械受注残高は47億60百万円(同6.1%減)となりました。

売上高におきましては、68億52百万円(同21.5%増)となり、その内訳は、内需40億30百万円(同34.0%増)、外需28億21百万円(同7.1%増)、外需比率41.2%(前年同期は46.7%)であります。また、営業利益は6億52百万円(前年同期比483.6%増)となりました。

IT関連製造装置事業

IT関連製造装置事業におきましては、半導体関係が売上高を底支えしてきましたが、中国経済が停滞している影響も受けて、総じて厳しい環境で推移してきました。

この結果、売上高は2億33百万円(前年同期比49.3%減)となり、営業損失は10百万円(前年同期は32百万円の営業利益)となりました。

自動車部品加工事業

自動車部品加工事業におきましては、自動車生産の回復を背景に受注が堅調に推移してきました。また、事業拡大のための営業活動を進め、新規受注の獲得や新規取引先の開拓をはかってきました。

この結果、売上高は3億24百万円(前年同期比48.0%増)となり、営業利益は9百万円(前年同期は4百万円の営業損失)となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

(資産、負債及び純資産の状況)

① 資産

当第2四半期連結会計期間末の総資産は161億90百万円となり、前連結会計年度末に比べて、3億98百万円増加しました。

その主な要因としましては、現金及び預金が3億12百万円減少したものの、たな卸資産が5億93百万円増加したことによるものです。

② 負債

当第2四半期連結会計期間末の負債は70億26百万円となり、前連結会計年度末に比べて、25百万円減少しました。

その主な要因としましては、未払法人税等が2億14百万円増加したものの、支払手形及び買掛金が2億88百万円減少したことによるものです。

③ 純資産

当第2四半期連結会計期間末の純資産は91億63百万円となり、前連結会計年度末に比べて、4億23百万円増加しました。

その主な要因としましては、利益剰余金が4億62百万円増加したことによるもので、自己資本比率は56.5%となりました。

(キャッシュ・フローの状況)

- ① 営業活動によるキャッシュ・フローは、税金等調整前四半期純利益の計上等があったものの、たな卸資産の増加や仕入債務の減少等により、1億80百万円の資金流出(前年同期は1億9百万円の資金流出)となりました。
- ② 投資活動によるキャッシュ・フローは、有形固定資産の取得による支出等があったものの、定期預金の払戻による収入等により、90百万円の資金流入(前年同期は32百万円の資金流出)となりました。
- ③ 財務活動によるキャッシュ・フローは、配当金の支払や長期借入金の返済による支出等により、95百万円の資金流出(前年同期は3億73百万円の資金流出)となりました。

これらの結果、当第2四半期連結累計期間における現金及び現金同等物は、1億82百万円の資金流出(前年同期は5億14百万円の資金流出)となり、当第2四半期連結累計期間末残高は14億71百万円(前年同期は7億16百万円)となりました。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

平成25年3月期の業績予想につきましては、平成24年5月11日に公表いたしました業績予想に変更はありません。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動
該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用
該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

(会計上の見積りの変更と区別することが困難な会計方針の変更)

当社は、法人税法の改正に伴い、第1四半期連結会計期間より、平成24年4月1日以後に取得した有形固定資産について、改正後の法人税法に基づく減価償却の方法に変更しております。

なお、この変更による当第2四半期連結累計期間における損益に与える影響は軽微であります。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成24年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,860	2,547
受取手形及び売掛金	5,352	5,479
商品及び製品	410	605
仕掛品	874	1,237
原材料及び貯蔵品	879	914
その他	332	366
貸倒引当金	△5	△5
流動資産合計	10,704	11,146
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	949	923
土地	2,326	2,326
その他(純額)	834	771
有形固定資産合計	4,110	4,021
無形固定資産		
投資その他の資産	68	96
その他	908	926
貸倒引当金	△0	△0
投資その他の資産合計	907	925
固定資産合計	5,086	5,043
資産合計	15,791	16,190

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成24年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	4,080	3,792
短期借入金	829	829
未払法人税等	41	256
賞与引当金	162	216
役員賞与引当金	23	15
製品保証引当金	36	25
その他	307	305
流動負債合計	5,480	5,442
固定負債		
長期借入金	767	717
退職給付引当金	488	499
役員退職慰労引当金	272	291
その他	42	75
固定負債合計	1,571	1,584
負債合計	7,052	7,026
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,835	1,835
資本剰余金	1,826	1,823
利益剰余金	5,089	5,552
自己株式	△64	△40
株主資本合計	8,687	9,170
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	44	28
繰延ヘッジ損益	—	△0
為替換算調整勘定	△50	△45
その他の包括利益累計額合計	△6	△16
新株予約権	58	8
少数株主持分	0	0
純資産合計	8,739	9,163
負債純資産合計	15,791	16,190

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 四半期連結損益計算書
 第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)
売上高	6,321	7,410
売上原価	4,924	5,488
売上総利益	1,396	1,921
販売費及び一般管理費	1,256	1,270
営業利益	140	651
営業外収益		
受取利息	0	0
受取配当金	3	3
再生物売却収入	6	4
持分法による投資利益	22	39
為替差益	—	7
その他	14	14
営業外収益合計	47	70
営業外費用		
支払利息	8	7
為替差損	8	—
保険解約損	—	2
その他	0	0
営業外費用合計	16	9
経常利益	171	711
特別利益		
固定資産売却益	3	0
投資有価証券売却益	—	0
新株予約権戻入益	—	46
特別利益合計	3	47
特別損失		
固定資産売却損	3	—
固定資産除却損	0	0
投資有価証券評価損	—	1
特別損失合計	3	1
税金等調整前四半期純利益	171	757
法人税、住民税及び事業税	29	262
法人税等調整額	40	△21
法人税等合計	69	240
少数株主損益調整前四半期純利益	101	517
少数株主利益	0	0
四半期純利益	101	516

四半期連結包括利益計算書
第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	101	517
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△9	△15
繰延ヘッジ損益	△0	△0
為替換算調整勘定	0	1
持分法適用会社に対する持分相当額	2	4
その他の包括利益合計	△6	△10
四半期包括利益	95	506
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	94	506
少数株主に係る四半期包括利益	0	0

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	171	757
減価償却費	183	148
退職給付引当金の増減額(△は減少)	7	10
貸倒引当金の増減額(△は減少)	0	0
賞与引当金の増減額(△は減少)	55	54
受取利息及び受取配当金	△4	△4
支払利息	8	7
投資有価証券評価損益(△は益)	—	1
新株予約権戻入益	—	△46
売上債権の増減額(△は増加)	△680	△124
たな卸資産の増減額(△は増加)	△610	△592
仕入債務の増減額(△は減少)	790	△292
その他	△4	△51
小計	△82	△130
利息及び配当金の受取額	4	4
利息の支払額	△8	△7
法人税等の支払額又は還付額(△は支払)	△23	△46
営業活動によるキャッシュ・フロー	△109	△180
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△25	△50
有形固定資産の売却による収入	15	—
投資有価証券の取得による支出	△11	△2
定期預金の預入による支出	△2,376	△2,440
定期預金の払戻による収入	2,370	2,571
その他	△5	12
投資活動によるキャッシュ・フロー	△32	90
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(△は減少)	△300	—
長期借入金の返済による支出	△49	△49
配当金の支払額	△32	△54
自己株式の取得による支出	△0	—
リース債務の返済による支出	—	△8
ストックオプションの行使による収入	8	17
財務活動によるキャッシュ・フロー	△373	△95
現金及び現金同等物に係る換算差額	1	3
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△514	△182
現金及び現金同等物の期首残高	1,230	1,654
現金及び現金同等物の四半期末残高	716	1,471

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。